2013年10月29日（火）

進捗状況

・成果物を明確にする．

先週，矢吹先生にアドバイスいただいたこと，先生方のご指摘のまとめを参考に成果物の候補を作っている最中です．

３つの成果物の候補を考えてみました．

1. 新たなPM手法を提案する．

OSSプロジェクトのようにフェイスtoフェイスでないプロジェクトにおいて効率を上げるための新たなPM手法を考えてみる．新たではなくとも既存のPM手法の改良をしてみたり．ノマドワーカーや在宅勤務者が増えてきているのでそういう人たちにも役立つかもしれない．イメージとしてA理論＋B理論＝PM手法，モデル化

1. リスクの低減や課題を明らかにさせる手法を提案する．

どのような手法でリスクを抑えることができるのか．それによりどのようなメリットがあるのか．例えばIssuesをコミュニケーションマネジメントの手法で紐解くなど，色々なPM手法を使用してみる．PMBOKで参照し，最終的にはOSSプロジェクトのリスクのリストアップを作ってみる．

1. OSSプロジェクトの旬のプロジェクトは何なのか，どのようなプロジェクトが多いのかをリストアップする．

ツールから得たデータをPMBOKで定義されてるPM手法の項目に当てはめることで，過去と今のプロジェクトの変異を明らかにする．例えばプログラミングのランキングを作成してみるなど．年代ごとにまとめる．

使用するツールをいくつか挙げてみました．Google BigQueryはGitHub データセットが公開されているのでトレンドの調査に役立ちますが，まだ登録は完了していません．

GitHub Trending Page

GitHub上で今何がトレンドかを知るための方法の一つで，ユーザは期間別，プロジェクト別，デベロッパ別，プログラミング言語別などでトレンドを知ることができるので，旬のプロジェクトがわかるかもしれない．ここでは，星印の数，フォーク数，コミット数，フォロー数，ページビューなどのデータは研究に利用できるのかなと思い調べています．

もうひとつの争点としてOSSプロジェクトは失敗したかしていないかなどの判断は，第三者からは明確ではないのでわかりずらく，プロジェクトの状況を深く考察するのには時間がかかるのでこの争点も考えていきたいと思います．